

図書館インフォメーション

今月の南部図書館内展示コーナー
歴史小説好きの皆様、必見です！



時節に合わせた、『関ヶ原の戦い』関連本の展示を行っております。
 「西軍」側「東軍」側、どちらが好きですか？

あなたはひとりじゃない！

福祉保健課と連携し
 「認知症」についての本や
 「自殺予防週間」に合わせたの
 展示も行っております。
 自分の事、ご家族の事、
 一人で抱え込まないでください。
 どこかに、一筋の光があるかもしれません。



11月の図書館の予定

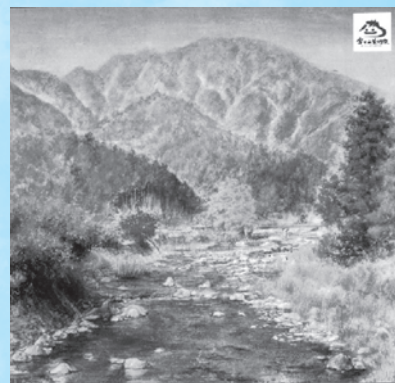
- ・乳幼児リトミック教室
11月2日(水) (10:30~11:30)
- ・乳幼児おはなし会 のんたんの部屋
11月9・16日(水) (10:45~11:30)

※各種催し物は、新型コロナウイルス感染予防のため中止になる場合があります。なお、中止の場合はFM告知放送でお知らせします。

町立図書館では、年代別のおすすめ本の紹介などの情報を図書館だよりで配信しています。図書館だよりのバックナンバーは右のQRコードを読み取るとご覧いただけます。



美術館 (企画展の紹介)



棚田宜弘 日本画展
 郷土からの享受

期間 10月22日(土)~11月27日(日)

- ◆午前9時30分~午後5時(入場午後4時半まで)
- ◆休館日・毎週月曜・11月4日・11月24日
- ◇その他、詳細はチラシをご覧ください！

お問合せ 南部図書館 事務室 ☎62-9292

今月の新刊情報

嘘つきジェンガ

辻村深月著 文藝春秋
見栄、不安。ほんの出来心から積み上げてしまった嘘。一線を越えたら、もう戻れない。騙す側、騙される側、それぞれの心理を巧みに描く小説集。



汝、星のごとく

凧良ゆう著 講談社
瀬戸内の島に育った高校生の暁海と、自由奔放な母の恋愛に振り回され島に転校してきた權。ともに心に孤独と欠落を抱えた二人は、惹かれ合い、すれ違い、そして成長していく。



レッドゾーン

夏川草介著 小学館
日進義信は内科医として長野県信濃山病院に勤めていた。院長の南郷は横浜港に停泊中のクルーズ船内の新型コロナ患者の受け入れを決めるが…。全3話収録。コロナ禍の最前線に立つ現役医師が綴る勇気の物語。「臨床の砦」続編。



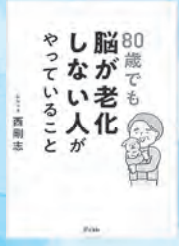
「静かな人」の戦略書 騒がしすぎるこの世界で内向型が 静かな力を発揮する法

ジル・チャン著 神崎朗子訳 ダイアモンド社
「はったり」はிரない、「他人の感情」に振り回されない、あえて「正反対」の相手とタッグを組む、上司を「管理」して正当な評価を得る。「静かで控えめ」な人の潜在能力を最大限に発揮する方法を伝える。



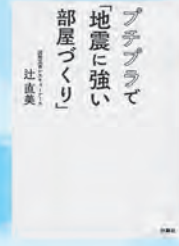
80歳でも脳が老化しない人が やっていること

西剛志著 アスコム
ウォーキングより脳活ドリブル、書くことで怒りや恨みを消す、会話に「擬音語」を入れる、人間関係のつくり方…。科学的に証明された「脳を健康にする方法」を紹介する。



プチプラで 「地震に強い部屋づくり」

辻直美著 扶桑社
震度6からものは凶器に変わる。プチプラアイテムを使った地震に強い部屋の作り方を具体的に解説。ものを増やさずに災害に備える極意や、リスクを減らす片づけ方なども紹介する。



ベストエッセイ2022

日本文藝家協会編 光村図書出版
コロナ禍の中、表現者たちは、いったい何を見つめ、何を考えていたのだろうか。角田光代、倉本聰、高村薫、プレイティみかこ、横尾忠則ら、一流文筆家の名文を収録。日本文藝家協会編纂のエッセイ・アンソロジー。



浅草ルンタッタ

劇団ひとり著 幻冬舎
行き場をなくした女たちが集う浅草の置屋の前に、赤ん坊が捨てられていた。お雪と名付けられた赤ん坊は、明治から大正へ、浅草の賑わいととも成長した。楽しみは芝居小屋に通うこと。圧倒的祝祭に満ちた物語。



おすすめ本!



南部図書館では、「認知症」を題材にした小説やエッセイ・脳トレ等の実用書など、幅広い世代の方にも知っていただけるように作品を紹介しております。認知症患者や認知症と関わる人を通じて、新たな気づきや生きる糧になることもあるかもしれません。

医者の僕が認知症の母と過ごす23年間のこと

森田豊著 自由国民社
認知症に不安を抱いている方へ、母の病と長年向き合ってきた現役医師が伝えたいこと。23年前にアルツハイマー型認知症を発症した母とその家族の記録。著者が息子として、医師として、どのような失敗があり、反省から何を学び、考え、どのように行動したかを書き綴る。